

第 69 回全道高等学校新聞研究大会（オホーツク大会）

分 科 会 一 覧

●分科会参加に当たって

- 1 提言者は「提言者レジュメ」を、参加者は「参加者レジュメ」を作成します。
ただし分科会ごとに提出物・部数が異なるので各分科会のページをよく読み、項目に沿って作成して下さい。
- 2 「参加者レジュメ」は「提言者レジュメ」を読んでから作成し、共有したドライブに9月29日までに提出します。参加者は当日までにダウンロードをして持参します。（PDF・紙は問いません。）
※詳細は別紙「◆提言者レジュメ／Ⅳ分科会支部報告と参加者レジュメの書き方」を参照してください。
- 3 自分が参加する分科会の「提言者レジュメ」は網走南ヶ丘高校の HP からダウンロードし、当日も忘れずに持参してください。（9月5日以降にアップロードします）
- 4 分科会打ち合わせ（大会1日目）は、15：00から分科会会場にて実施します。ⅡB2、Ⅲ、Ⅳ分科会は提言者（代表者）・司会者・運営者・助言者・講師のみ、ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB1、ⅡCは全員、記念講演終了後に各分科会会場へ移動してください。

分科会	討議・実技のテーマ		討議内容・実技内容紹介	備 考 （当日の持参物等）
ⅠA	高校生新聞のあり方	高校生新聞の役割と可能性を考える	高校生新聞だからこそ果たせる役割と可能性について、「何を、何のために、どのように伝えていくのか」自校新聞の実践を基に討議します。	・提言者レジュメ ・参加者レジュメ（事前にダウンロード）（必要に応じて） ・自校新聞（参加者＋20部）
ⅠB		高校生新聞をどのように作るか（企画・取材を考える）	各学校の実践を基に意見交換し、よりよい企画や取材のためにはどうすればよいか討議します。またよい紙面作りのための企画会議の持ち方についても考えます。	・提言者レジュメ ・参加者レジュメ（事前にダウンロード）
ⅡA	高校生新聞の作り方	よりよい新聞を作るために他校紙に学ぶ	講師は田口耕平先生（有朋高校教諭）。他校紙と自校紙を比較し、他校の実践を学びます。後半は田口先生による「新聞クリニック」を行い、新聞をどう見るか、その批評の観点について学びます。	・提言者レジュメ（提言者が紙で持参） ・参加者メモ（当日、自分用に1部） ・自校新聞（参加者＋20部）
ⅡB1		よりよい新聞を作るために ①取材して記事を書こう	講師は渡辺多美江さん（元北海道新聞記者）。取材の基本と写真撮影について学び、模擬共同記者会見を行います。実践的な取材方法について学び、人物紹介記事を作成し、編集技術の向上を目指します。	・各校の新聞（ダウンロードまたは紙） ・筆記用具、カメラ（スマホ可）（必要に応じて） はさみ、のり、定規
ⅡB2		よりよい新聞を作るために ②レイアウトの技術を高めよう	講師は土田泰裕先生（帯広三条高校教諭）。「読者を引きつけるレイアウト」をテーマに、班討議と実習を通して学びます。	・自校新聞（参加者＋20部） ・筆記用具、取材ノート、カメラ（スマホ可）等、取材や記事書きに必要なもの
ⅡC		地域を取材して新聞を作ろう	講師は小林哲也先生（帯広柏葉高校新聞局顧問）。「さけ・ます増殖事業協会の網走捕獲場」「網走漁業協同組合」を取材し新聞を作成します。	・取材メモ、カメラ（スマホ可）、雨具
Ⅲ	校内生活・社会生活について考えよう		校内生活・校外生活における様々な問題を考えます。今回は「校則」と「SNS利用」といったテーマを切り口に「情報化社会の今」について話し合います。各校の状況や自分の考えを出し合い、新聞にどのように取り上げていくかを討議します。	・提言者レジュメ ・参加者レジュメ（事前にダウンロード）
Ⅳ	支部活動を活発にするために		講師は菅原淳先生（前全道新聞専門委員長）。各支部・各学校の状況や活動内容を報告し、日頃の活動における悩みから支部活動、全道大会のあり方で様々な意見を交換します。	・支部報告（提言者レジュメ）※各支部1名 ・参加者レジュメ（事前にダウンロード）